

## 新年のあいさつ

鬼北町議会議長 坂本末光

新年あけましておめでとうござい  
ます。

議会を代表しまして謹んで新年の  
ごあいさつを申し上げます。町民の  
皆様におかれましては、ご家族お揃  
いでお健やかに希望に満ちた新春を  
お迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、平成14年に小規模地方自  
治に課せられた重要課題の一つが町  
村合併であるとし、平成14年10月に  
広見町・松野町・日吉村で、きほく  
合併協議会が法定協議会として成立  
し、以来13カ月間を要し、新町設立  
のための協議を行い、61事項のうち  
57事項を満場一致で承認、確認した  
ところで、平成15年11月27日に突如  
松野町が協議会から離脱を表明した  
ので、あの時点では日吉村との一町一  
村による合併以外に法定期限内での  
合併はありえないとし、町民各位の  
ご理解のもと、今まで以上に豊かで  
活力のある町づくり、安心で安定し  
た暮らしのできる町づくりを目指し  
たにもかかわらず、国が三位一体と  
称し、地方自治体に交付する地方交  
付税が大幅減額となり、全国すべ  
ての町村が財政の硬直化の深刻な問題  
を抱えています。平成の合併は何で

あったのだろうか。夢は消え去った  
といって過言ではありません。

今日、再び松野町との合併問題が  
議論されています。合併の是非は、  
住民の皆さんがお決めいただくこと  
が不可欠です。また、今年3月には  
鬼北町にとって最も重要な町長と議  
会議員の選挙が行われます。合併の  
是非を決めていただくのも、町長・  
議員を選んでいただくのも、住民の  
皆さんお一人おひとりの権利であり、  
また、住民の皆さんに課せられた義  
務でもあります。過ちのない選択を  
されますことをご祈念申し上げます。  
新年のごあいさつといたします。

